

工賃向上計画

①法人名	社会福祉法人 大潟福祉会	②代表者名	潟山 康博	
③施設名	大潟屋	④施設長名	潟山 樹里	
⑤施設住所	〒 899-2503 鹿児島県日置市伊集院町妙円寺1-64-3	・ T E L	099-273-0088	
		・ F A X		
		・ e-mail	ohgatava@ohgata-swc.com	
⑥施設種別	<input checked="" type="checkbox"/> 就労継続支援B型 その他 (<input type="checkbox"/> 就労継続支援A型 <input type="checkbox"/> 生活介護 <input type="checkbox"/> 地域活動支援センター)			
⑦指定年月日	(元号) 平成29年4月1日			
⑧定員数 (R6年4月1日現在)	20人	⑨現員数 (R6年4月1日)	6人	
⑩施設概要	鹿児島県日置市を拠点に、農業を主軸としてお米・野菜の生産をおこなっています。農業を通して、自然や人とふれあい、地域との繋がりをもちながら一般就労が困難な地域住民の活躍の場を提供しています。付加価値のある農業の取り組みとして、国産コーヒー生産事業も展開しています。また収益事業として、希少価値のある商材を取り扱い、市場性の高い商品を提供することにより、利用者の待遇向上を図っています。障がいの程度等に応じて作業内容を選択でき、目標ややりがいをもって取り組める就労支援を目指しています。			
⑪作業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 農産物生産・販売 <input checked="" type="checkbox"/> 食品製造・販売 <input type="checkbox"/> 工芸品・小物雑貨等製作・販売 <input type="checkbox"/> 役務の提供 <input type="checkbox"/> その他			
⑫作業内容	野菜・お米や国産コーヒー生産に係る農作業全般			
	農機具の管理・清掃・整備			
	野菜の袋詰め・ラベル貼り・コーヒー豆のピッキングなど			
	施設外就労(環境整備・施設修繕・車両管理など)			
⑬令和5年度工賃実績	月額	38,342円	支払い対象者延べ数	
			6人	
⑭目標工賃	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	支払対象者	8人	10人	12人
	目標工賃月額	38,866円	39,390円	39,914円
	収入見込み額(A)	5,714,670円	6,112,798円	6,510,926円
	支出見込み等(B)	3,731,580円	3,220,098円	2,986,894円
	①工賃支払総額(A-B)	1,983,090円	2,892,700円	3,524,032円
	年間延べ利用者数(C)	1,239人	1,749人	2,108人
	年間開所日数(D)	257日	256日	258日
	②1日当たりの平均利用者数(C÷D)	4.82人	6.83人	8.17人
	③年間開所月数	12月	12月	12月
	1人当たり平均工賃月額(①÷②÷③)	34,279円	35,284円	35,942円

注) 色のついたセルは計算式が入っていますので、入力しないでください。

⑮目標工賃設定に当たっての基本的な考え方	現時点で全国及び鹿児島県における平均工賃月額を上回っていることから、全国の就労継続支援B型事業所の令和4年度と令和3年度の平均工賃月額の差額を当事業所における令和5年度の平均工賃月額の実績に上乘せして目標工賃月額を設定。当事業所は定員数と比較して利用者の登録人数が少ないため、年度毎に利用者確保にも取り組まなければならないことから、平均工賃月額が下がらないように在籍している利用者の工賃を上げることで年間工賃月額を維持・向上していく見込み。		
⑯目標工賃達成に向けた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 設備整備 <input checked="" type="checkbox"/> 商品開発 <input checked="" type="checkbox"/> 作業内容の充実 <input checked="" type="checkbox"/> 販路開拓 <input type="checkbox"/> 共同受注窓口の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の意識改革 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の意識改革 <input checked="" type="checkbox"/> 職場環境の改善 <input type="checkbox"/> 経営コンサルタント等からの助言 <input checked="" type="checkbox"/> 地元企業との連携 <input checked="" type="checkbox"/> 商店街等との連携 <input checked="" type="checkbox"/> 市町村との連携 <input type="checkbox"/> その他()		
⑰上記取組に関する具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者確保に伴い、訓練室や送迎バス等の設備拡充を図る。 ・農地拡大に伴い、これまでの生産実績をもとに輪作体系を組み、年間を通して生産性のある営農計画を立て、農業生産収入を上げる。 ・国産コーヒーの生産量が年々増加してきているため、利用者の作業内容のバリエーションが増えることから、それに必要な設備や作業工程を確立していく。 ・国産コーヒー生産事業の発展に伴い、事業所としてのブランディングやマーケティングを推進していくため、外部への業務委託等を通じて生産と販売のバランスを図る。 ・行政や観光協会等との連携を図り、地域コミュニティとの繋がりを深めながら農福連携の取り組みの推進を図る。 		
⑱目標工賃達成に向けた年次計画	令和6年度	農地の作付け面積を広げたことにより、農業生産量及び収入が増える見込み。さまざまな特性のある利用者や福祉人材職員が農業生産に携わることが前提となるため、その体制に応じた営農計画を立て、組織的な体制を整備することで一定の生産性が保たれるようにする。生産量が増えるため、販路を拡大する必要もあるため、農協と連携を図り、出荷先を確保する。利用者のペースに応じて、農業技術の習得を図り、能力や貢献度に応じて工賃へ反映させる。	
	令和7年度	国産コーヒーの生産工程の流れが確立した段階で商品化・販売を開始する。これまでSNSで発信する中で獲得したフォロワーへの告知を先行的に実施する。また、鹿児島県内でのコーヒー関連のイベントに出店し、認知を獲得する。国産コーヒーは全国的にまだまだ流通しておらず、市場性が高い商材となるため、中長期的な視点をもってマーケティング及びブランディング戦略を構築する。コーヒー生産から販売までのプロセスで必要となる作業工程は専門的な能力を身につける機会となるため、そのプロセスに携わる利用者を見極め、収益状況に応じて工賃へ反映させる。	
	令和8年度	国産コーヒーの魅力を訴求するために、コーヒーだけではなく、コーヒーチェリーやコーヒーリーフ等を使った商品を開発する。また、収穫体験などのイベントを企画し、国産コーヒーの魅力を発信するとともにマネタイズポイントを増やしていく。地域の特産品としてもPRしていくことで、事業所のブランド価値を高めながら、利用者の活躍を社会に発信していく。利用者の人数増加や事業展開の状況に応じて、部門や分野別に作業内容を整理し、効率化を図ることでより生産性を高めていく。	
⑲計画策定に当たっての関係者の意見等	理事会	確認日 令和6年5月24日	特になし
	利用者	確認日 令和6年5月29日	特になし
	家族	確認日 令和6年5月29日	特になし